

マイナンバーカードを使った オンライン申請ができます

4月1日より、国のマイナポータルからマイナンバーカードを利用して、役場で行う手続きの一部がインターネット（オンライン）上でも申請できるようになります。

役場の開庁時間外でもパソコンやスマートフォンから申請できるので、活用してください。

⑨手続きによっては、窓口での添付書類の提出や聞き取り確認が必要な場合があります。

詳しくは、各申請画面の手続き方法を確認してください。



オンライン申請ができるようになる手続き

子育て関連手続き

- 児童手当などの現況届
- 保育施設などの利用申し込みほか
子育てに関する15種類の手続きを
オンラインで申請できます。
- ▶問い合わせ
子育て支援係 (☎223-3537)
健康づくり係 (☎223-3533)

選挙関連手続き

- 選挙人名簿登録地以外での不在者投票時の投票用紙の請求
仕事や用事などで選挙期間中、
芦屋町以外の市町村に滞在して
いる人は、滞在先で投票する
ために必要な書類をオンライン
で請求できます。
- ▶問い合わせ 芦屋町選挙管理
委員会 (☎223-0881)

詳細は、芦屋町ホームページで確認
してください。



転出届と転入・転居手続き

(令和5年2月6日より開始済み)

- 転出届と転入・転居の予約
転出届と転入・転居の窓口予約をオンラインででき
ます。この場合、原則として、転出元の役場・役所
に行く必要はありません。転入・転居の手
続きに関しては、市区町村窓口で行う必要
があります。
※町営住宅入居者や転出後に芦屋町への区域
外就学を希望する人は、事前に担当係まで
連絡してください。
- ▶問い合わせ 転出届と転入・転居の手続きに関す
ること=住民係 (☎223-3531)
町営住宅に関すること=住宅係 (☎223-3540)
就学に関すること=学校教育係 (☎223-3547)

芦屋町ホームペ
ージ「マイナポ
ータルから転出届
と転入・転居の
予約ができます」



被災者支援手続き

- 罹災証明書の発行申請
災害による住家の被害の
程度を証明する罹災証明
書の発行をオンラインで
申請できます。
- ▶問い合わせ 庶務係
(☎223-3572)

介護関連手続き

- 要介護・要支援認定の申請
- 介護保険負担限度額認定申請ほか
介護保険に関する11種類の手続き
をオンラインで申請できます。
- ▶問い合わせ 高齢者支援係
(☎223-3536)

～オンライン申請に必要なもの～

- マイナンバーカード
 - 利用者証明用電子証明書の暗証番号（4桁 [数字のみ]）
 - マイナンバーカードの読み取りができる機器
（スマートフォンまたはパソコン+ICカードリーダー）
 - 各種手続きに必要な書類
- 上記に加え、**転出・転入・転居手続きでのみ必要なもの**
- 署名用電子証明書の暗証番号
（6～16桁 [大文字アルファベットと数字]）
 - 券面事項入力補助の暗証番号（4桁 [数字のみ]）

全ての申請手続き
は、マイナポータル
にアクセスすること
で進められます。



マイナポータルへの
アクセスはここから



芦屋歴史紀行

その三百二十三

特別展

「玉井家・吉田家・杉山家」
〜人の望みと喜びと〜より③

芦屋歴史の里の特別展では、幕末から昭和にかけての、芦屋と若松を舞台とした3家の関わりを展示しています。今回は杉山家の人々を紹介します。

杉山三郎平(1839〜1902年)



杉山三郎平は、黒田藩士、儒学者(号は灌園)。本名は三郎平誠胤。

幕末の黒田藩諸藩応接役を担い、大政奉還後は藩主黒田長溥公に意見し、謹慎後、自ら御役御免となる。明治2(1869)年に芦屋町に移住。夜須郡二村(現在の筑前町)で私塾「敬止義塾」を開く。

杉山茂丸(1864〜1935年)



杉山茂丸は、三郎平の嗣子(跡継ぎ)。日本の献策家、実業家。国士。

幼少期を芦屋で過ごした。アジア主義を唱えた政治結社である玄洋社と関わりを持ちつつ、明治から昭和初期にかけて、時代の政界実力者であった山縣有朋、伊藤博文、松方正義、井上馨、桂太郎、児玉源太郎、後藤新平らの参謀役を務め、政界の黒幕などと呼ばれた。台湾内政・日露戦争にも深く関与した。

また、茶道・義太夫・刀剣鑑定などにも深い見識があった。戯号として其日庵。主な著書に『百魔』『俗戦国策』などがある。

杉山直樹(1889〜1936年)



杉山直樹は、杉山茂丸の長男。日本の小説家。筆名は夢野久作。出家名は杉山泰道。

現在でもその作品は熱烈的なファンを持つ。田舎の風土を醸したホラー、怪奇幻想の色濃い作風で、日本三大奇書の一つ『ドグラ・マグラ』はその集大成と言える。詩や短歌に長け『白髪小僧』中の神話、『猟奇歌』などが代表とされる。絵もよく描き、イラストは高い評価を受けて

いる。作家としての将来を嘱望されていたが、昭和11(1936)年3月11日に脳溢血で死亡、享年47歳。近年、夢野久作の名は、アニメなどのキャラクターとしても知られる。

杉山龍丸(1919〜1987年)



杉山龍丸は、杉山直樹の長男。農業技術者。インドの緑の父(Green Father)と呼ばれる人物。

昭和15(1940)年、陸軍士官学校を卒業し、技術将校として南方に赴く。ボルネオでは銃弾が胸部を貫通する重傷を負い終戦を迎える。戦後、3万坪の農地を売り、インド緑化の費用に充てた。インドの政府や個人の協力を得て、インド各地の砂漠地帯や土砂崩壊の地域を緑化した。日本の政府や企業などからは理解や協力が得られず、日本ではあまり知られていない。彼のインド緑化事業は、YMCA(青少年の成長を願う世界最大規模の非営利団体)を通じて、中村哲氏のアフガン人道支援へとつながっていった。

(芦屋歴史の里)

編集後記

▼令和4年の春から1年かけて進めてきた、遠賀郡・中間市合同企画を今号に掲載しています。各市町の広報担当者のアツい心を感じてくれると号泣します。(鐵守)
▼公園で楽しく遊ぶ子どもの姿を合同企画用の表紙にするため、撮影に奮闘しました。シャボン玉を飛ばして子どもたちのテンションをあげ、芝生に寝転んだり(草まみれ)、遊具の上に乗ったりしてカメラを構え、頑張りました。(手塚)
▼令和2年の春、新型コロナウイルスの流行で、施設などが閉鎖され、子どもの遊び場を失い大変困りました。そこで「公園などの外遊び」に目を付けましたがそれもNG。「海・山・川」ならと、行き先をシフト。しかし、川原にはロープが張られていて遊び場がごとごとく駄目になりました。合同企画の特集は、家族で遊ぶ場所を求めた気持ちを含めています。遠賀郡中間市の春夏秋を楽しむ遊び場をまとめたスポット(保存版)を載せているのでぜひ出かけてみてください。▼芦屋東小学校の十歳のつどいの取材(9ページに記事)。すでに具体的な夢を持って発表している十歳の姿に感動を覚えました。夢なんてまだわからないけど、この日のために一生懸命考えたであろうみんなにもエールを送りたいと思います。「焦らなくても大丈夫。少なくとも今日の発表を頑張っている姿はとてすてきでしたよ」と。(那木)